

## 入試総集編 - 2005年度(平17)入学試験結果 -

05年度志願者は7.1%増 一・二部合計3万3593人

05年度(平17)の大学入試状況がまとまった。

本学では、一部一般入学試験と大学入試センター試験利用入学試験の日程を前期・後期と分けて実施した。また、一般入学試験(一部・二部)と地区入学試験に同一試験日内の併願が出来るようにした。その結果、一般・地区・大学入試センター試験利用入学試験志願者の合計が一部3万2259人、二部1334人で、合計3万3593人となり、昨年度に比べ2222人(7.1%)の増となった。

### 大学入試センター試験利用入試

今年度の大学入試センター試験利用入学試験は、前期は全学部で、後期は文学部を除く5学部で実施された。志願者数は前期が9613人、後期が461人、合計で1万74人。昨年度より694人減(6.4%)。学科別に見ると、国際経済学科が50.8%、商業学科が31.0%の大幅な増加となり、減少率が大きかったのは、英語英米文学科の30.8%。次いで日本語日本文学科の26.4%、経営学科の22.2%であった。

### 地区入試

5年目を迎えた地区入学試験では、全国10会場(札幌・仙台・新潟・長野・名古屋・大阪・広島・福岡・神田校舎・生田校舎)で実施され、全学部で志願者が2923人となり、昨年度より137人増加した。会場別では、生田校舎が大幅な増加となり、札幌・長野・大阪・神田校舎の4会場は減少した。特に減少が目立ったのは、長野会場と神田校舎だった。

### 一部一般入試

一部一般入学試験は、前期は7会場(水戸・大宮・津田沼・横浜・静岡・神田校舎・生田校舎)で、後期は2会場(神田校舎・生田校舎)で実施された。志願者数は前期が1万6702人、後期が2560人、合計で1万9262人。昨年度より2681人増加した。学科別では経営学科が60.5%、心理学科が36.3%、人文学科が25.0%、法律学科が19.6%と大幅に増加した。

### 二部一般入試

二部一般入学試験は、経済学科と商業学科が増加となり、法律学科が減少した。志願者数は1334人で、昨年度より98人の増(7.9%)となった。

### 私大全体 志願者の減少率は小幅に

私立大学345大学の今年度の志願者総数は239万6128人で、昨年度の246万2351人に比べて6万6223人少なく、減少率は2.7%となった(3月12日現在。豊島継男事務所・榊進研アド調査)。

05年度の18歳人口は、昨年度の141万人に比べると4万4000人(3.1%)減少して136万6000人となり、高校の新規卒業者が昨年度に比べて3万9000人(3.2%)減少している。私立大学の志願者数の減少率が、それを下回る2.7%となった要因としては、各私大の受験生へのアピールが行き届き、出願に結びついたこと、現行の教育課程での最後の入試となるため全般的に出願したこと、国公立大学の試験科目が5教科7科目となり敬遠され、私立大学に流れたことなどが挙げられる。

昨年に続いて、大学入試センター試験利用入学試験を新規導入した効果は、一部の私立大学を除き、全体的には薄れてきている。

## 平成18年度入試トピックス

### (1) 新入試方式 AS方式(大学入試センター試験併用)導入

一般前期入学試験に新たに導入する「AS方式(大学入試センター試験併用)」とは、一般前期入学試験A方式(3教科同一配点)に、大学入試センター試験の1科目(学部・学科により異なります)の得点結果を加えて選考する方式です。大学入試センター試験受験後の出願も可能です。

### (2) ネットワーク情報学部は、理系受験生のための入試方式を新たに導入

ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科では、理系の受験生のための入試方式として、大学入試センター試験利用前期入学試験に「5科目」を追加し、一般前期入学試験には、数学を重視する「F方式(理系)」を新たに導入します。

### (3) 経営学部は、新科目「情報」で受験可能

経営学部経営学科は一般前期入学試験の選択科目として「情報」で受験することができます。

出題範囲は「情報A、情報B、情報C」。

### (4) 新試験会場、金沢会場を設置

新たに石川県金沢市で地区入学試験を実施します。会場は、JR金沢駅前の都ホテルです。

これにより、試験会場は、札幌、仙台、新潟、金沢、長野、名古屋、大阪、広島、福岡および専修大学神田校舎(東京)、生田校舎(神奈川)の11会場になります。

【ニュース専修2005年4月号6-7面】